

指導の実態・意識調査の結果から見えた 中学校社会科における 思考力の育成に向けた提言

指導の実態・意識調査の結果分析から分かったこと

- ① 中学校社会科において思考力を育成するためには、「比較」「関連」「意味」「総合」「批判」「分析」「類推」「多面的・多角的」といった八つの考える視点を取り入れた学習指導を意図的、総合的、継続的に行う必要があります。
- ② 八つの考える視点から類別した学習指導の実施には偏りがあり、取組は、教員一人一人の意識による影響が強く出ています。
- ③ 学習対象とした社会的事象を「自分」、「ほかや現在の事象」、「将来」との結び付きを類推して考えさせる視点を取り入れた学習指導は、公民的分野において実施されることが有意に多いです。
- ④ 八つの考える視点から類別した学習指導には相関が見られるものがあります。
- ⑤ 問題(課題)解決的な学習の実施は少ないですが、実施するほど生徒の思考力が高まっています。
- ⑥ 八つの考える視点から類別した学習指導の実施を阻害する要因には、「生徒の思考時間を確保できない」「社会的事象について多面的・多角的に考察させる方法に関する知識が少ない」「生徒の実態を優先」という三つの意識が働いています。
- ⑦ 思考力の育成にかかわる学習指導の意図的な導入を阻害する要因には、「学習環境が未整備」と「部活動指導や生徒指導で忙しく教材研究を深められない」という意識が働いています。そして、これらには、「年間指導計画への具体的な手だての未掲載」「多面的・多角的に考えさせる視点や方法が不明」「社会的事象の意味や特色を考えさせる時間の不足」という意識が影響をしています。

思考力の育成にかかわる学習指導の実施状況チェックチャート

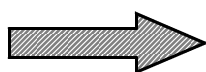
Q、思考力の育成にかかわる学習活動や学習場면을意図的に導入していますか？



(1) 八つの視点を取り入れた学習指導の実施状況を、分野ごとにチェックしましょう。
(実施している欄に○)

視点	学習指導例	地理	歴史	公民
比較	社会的事象相互の共通点や相違点について、事象を比較して考えさせる指導			
関連	複数の社会的事象の関連性を考えさせる指導			
意味	社会的事象の意味や特色を考えさせる指導			
総合	事象の意味・意義や特色に関する友達の考えを聞いて、自分の考えを深めさせたり、広げさせたりする指導			
	獲得した知識を関連させて文章や図表にまとめるなど、事象の意味・意義や特色を総合的に考えさせる指導			
批判	自分の考えをもたせた上で話し合い、批判や受け入れを経て、よりよい考えをつくり上げる指導			
分析	資料を丁寧に読み取らせ、一つの資料から多くの情報を読み取り、解釈できるようにする指導			
	追究や考察に必要な情報を、複数の資料の中から収集・選択し読み取ったことを活用させる指導			
類推	課題追究の前に、根拠を明確にして予想を立てさせる指導			
	学習対象とした社会的事象を「自分」「ほか(現在)の事象」「将来」との結び付きを類推して考えさせる指導			
多面的・多角的	ある事象を基に考えたことを、さらに、ほかの視点や側面から考えさせる指導			

※ 学習指導例の分類は、質問紙調査の質問文を転記したものです。



分野を問わず、○が付かなかった学習指導例があった場合には…

提言 1・2へ

(2) (1)のチェック表において○が付かなかった学習指導例に関して、その実施ができない理由として、「どちらかと言えば当てはまる」ものはありますか？

	理 由	どちらかと言えば当てはまったら
①	生徒が思考する時間を十分確保できないから。 ＜思考させる時間の不足＞	提言3へ
②	生徒に多面的・多角的に考察させる方法が分からないから。 ＜多面的・多角的な思考を伴う指導方法が不明＞	提言1・4へ
③	生徒に思考活動をさせたいが、そこまでの力が生徒に身に付いていないから。 ＜生徒の実態優先＞	提言1へ

※ 理由として示した内容は、調査・分析結果から明らかになった「実施困難と想定した学習指導の実施を阻害する要因(意識)」です。

(3) 単元を通して学習課題を解決する「問題(課題)解決的な学習」は、どの程度実施していますか？

	実 施 状 況	どちらかと言えば当てはまったら	
①	すべての単元で実施している	先生の取組を、ほかの先生へ広めてください	
②	学期に複数単元で実施している		
③	学期に一単元ずつ実施している		
④	年間に一、又は二単元は実施している		提言2へ
⑤	問題(課題)解決的な学習を実施する分野に偏りがある		
⑥	問題(課題)解決的な学習を実施していない		

(4) 思考力の育成にかかわる学習指導を意図的に導入していない、あるいは導入できない理由として、「どちらかと言えば当てはまる」ものはありますか？

	理 由	どちらかと言えば当てはまったら
①	複数の資料や情報を収集・選択できる学習環境が整っていないから。 ＜学習環境の未整備＞	提言4へ
②	部活動指導や生徒指導で忙しく、教材研究を深めることができないから。 ＜部活動指導や生徒指導で多忙＞	提言1・2・3
③	年間指導計画で、思考力を育成するための具体的な手だてが示されていないから。 ＜指導方法＞	提言1へ
④	多面的・多角的に考えさせる視点や方法が分からないから。 ＜指導方法＞	
⑤	社会的事象を比較・関連させ、意味や特色を考えさせる時間を作れないから。 ＜時間不足＞	提言3へ

※ 理由として示した内容は、調査・分析結果から明らかになった「意図的な導入を阻害する要因(意識)」です。

提言 1

実態に即した思考活動を繰り返し実施するとともに、未実施傾向にある視点を取り入れた学習指導や、学習指導の取組に相関がある「比較」「分析」「類推」「意味」「関連」「総合」「多面的・多角的」の各視点を取り入れた学習指導を意識的に取り入れましょう。



八つの考える視点を取り入れた指導方法には、このような指導例があります！

聞き取り調査の結果を集約したものです。調査結果からは分らなかった部分は空欄ですが、取組の参考にしてみてください。

考える視点	指導例	実施ポイント・留意点
比較	<p>以前に学習したアメリカ・中国を振り返り、日本の農業の特色を考えさせる。</p> <p>アメリカ合衆国の大規模経営を、平均的な日本の農業経営と十勝平野の農業経営と比較させ、班での話し合いを基にまとめさせる。</p> <p>「アメリカ合衆国と日本の農家の比較」の資料の読み取りから、アメリカの米を生産するためのコストが、日本の10分の1以下ですむ理由を考えさせる。</p> <p>中国の「地形」と「人口密度」を比較させ、その関連を考えさせる。</p>	<p>日本の農業の特色を押さえ、生産者と消費者の立場から貿易を考えさせる。</p> <p>比較資料を生徒が見つめるのは時間を要するので、教師が事前に用意しておく。</p> <p>アメリカ合衆国と日本で最も違う点は何かを考えさせる。</p>
	<p>中国の「米・小麦の栽培地と羊の分布」と「中国の冬の気温と年間降水量」を比較させ、その土地で、その農業が盛んな理由を考えさせる。</p>	<p>「西部は～、東部は～」のように、それぞれの特徴を言葉で書かせ、それを比較させる。</p> <p>二つの地図を頭の中で重ね合わせながら考えさせる。稲、小麦の植物としての性質を確認した上で、気候との関連を考えさせる。</p>
	<p>縄文時代の生活と弥生時代の生活を比較し、特徴を明らかにさせる。</p> <p>縄文時代の生活と弥生時代の生活の共通点、相違点を明らかにする学習で、縄文のむらの想像図と弥生のむらの想像図、三内丸山遺跡の写真と吉野ヶ里遺跡の写真を比較してとらえさせる。</p> <p>武家社会の変容をとらえさせるために、貴族の生活の様子と武士の生活の様子のイラストなどを用いて、小グループで公家文化との比較をさせる。</p>	<p>人物、建物、道具など、比較する際の視点を提示しておく。</p> <p>自由な発想、発見を大切にするために、はじめは自由に話し合わせる。授業者が意図した考えが出にくい場合は視点を示し、思考を促す。</p> <p>小グループは常に二～四名程度。グループを作るときは、ある程度自由に作らせている。</p>
公民	<p>単元「裁判の種類と人権」において、民事事件、刑事事件発生から裁判までの流れを自作資料により比較させる。</p> <p>単元「個人と社会生活、家族と社会生活」において、二つのテレビアニメ番組に登場している家族の家系図を比較させる。</p> <p>「国の政治のしくみ」と「地方の政治のしくみ」を一覧表に整理しながら、その共通点や相違点などに気付かせる。</p>	<p>ワークシートを準備する。</p> <p>単なる用語調べにならないよう、各自の考えや気付いたことを加えていけるようにした。</p>
分析①	<p>統計資料の生産額を読み取り、福岡県が九州の中心地であることをとらえさせる。</p> <p>中国の「省別工業生産額と日本企業の進出先」を表した地図の読み取りから、その場所で工業生産が多い理由と、日本企業が多数進出している理由について考えさせる。</p> <p>日本の火力、水力、原子力発電所の分布とその理由について考えさせる。</p> <p>「日本のおもな工業地域」の地図から、工業地域がどのように変化したかを読み取らせ、その理由を考えさせる。</p> <p>「各県の産業別人口に占める第三次産業の割合」の地図から、第三次産業の割合が高い地域の特徴を考えさせる。</p>	<p>地図帳や資料集など活用できる資料を示す。</p> <p>中国側のメリット、日本側のメリットを、それぞれの立場から考えさせる。</p> <p>それぞれの発電所の立地条件や発電所の特徴を想起させながら考えさせる。</p> <p>工業地域が広がるために、必要な条件を挙げさせてから考えさせる。</p> <p>第一次、第二次、第三次産業の職種について、あらかじめ確認しておく。</p>
	<p>「魏志」倭人伝を読んで、邪馬台国の位置について自分なりの解釈をさせる。</p> <p>中世の武士のおこりを考えるに当たって、非文字資料として、教科書の「タイムスリップ中世①」を基に、中世と近世の武士の違いを考えさせる。</p> <p>「工場制手工業」は、それまでの方法と比べてどのような点が優れていたのかを考えさせる。</p>	<p>地図帳を活用し、北九州及び畿内の地域に存在している「ヤマト」がつく地名をあらかじめチェックさせる。</p> <p>当時の武士の生活を知るためには、絵などの非文字資料がよいが、生徒に分かりやすい資料が少ないので、教科書の資料も有効である。</p> <p>「工場制手工業による綿織物の生産」を表した図を、よく観察させながら考えさせる。</p>
	<p>「工場制手工業」は、それまでの方法と比べてどのような点が優れていたのかを考えさせる。</p>	

		<p>欧米の進出と日本の開国の単元で「イギリスとインドの綿布の輸出」のグラフを用いて、産業革命の意味と社会の変化、欧米諸国のアジア・アフリカ進出の目的などを探らせる。</p> <p>「日本の輸出入の変化」のグラフを見て、第一次世界大戦中だけ日本の輸出が輸入を上回っている理由を考えさせる。</p>	<p>インドの輸出量の減少とイギリスの輸出量の増加を一体のものにとらえさせる。「イギリスはなぜ急に輸出を伸ばしたのか」「インドは輸出が減って、人々の生活がどうなったか」など、適切な視点を示して生徒の思考を引き出すようにする。</p> <p>第一次世界大戦の主戦場、日本の参戦のあたりなどを考えさせる。</p>
	公民	<p>単元「人口・食料問題」において、世界各地の代表国の統計資料を表にまとめ、地域の実態、課題をつかませる。</p> <p>二酸化炭素削減や京都議定書にかかわる各国の対応などに関する新聞記事などを基に、地球環境に対する各国の思いを考え、地球人として対策を話し合わせる。</p>	<p>偏った考え方にならないよう、多面的・多角的にもものを見られるよう努める。</p>
類推①	地理	<p>学習課題「東北地方は、冬、どう生活しているか」に対し、気候や地形の特色から予想させる。</p> <p>石巻港の漁種別漁獲高から暖流を好む魚と寒流を好む魚に分け、それを根拠に東北地方の水産業を概観させる。</p>	<p>地形と気候のとらえを常に行うようにする。</p> <p>基本となる海流と、暖流を好む魚・寒流を好む魚を画面で確認させる。</p>
	歴史	<p>新しい時代の変わり目で、新政権成立の理由を、前政権との比較から類推させる。</p> <p>「お伽草子から室町時代の特色を探ろう」という学習の導入で、『一寸法師』を中心資料に「室町幕府には、なぜ、幸福や富を求める民衆の明るい夢を語る、お伽草子が生まれたのだろうか」という課題に対して予想を立て、追究の視点を定めさせる。</p> <p>江戸時代に入ると、新田開発や商品作物の栽培が盛んに行われた理由について考えさせる。</p> <p>商品経済が発達すると、大名や武士たちの生活が苦しくなった理由について考えさせる。</p>	<p>新政権が新たに行った取組に着目させる。</p> <p>生徒が幼い頃聞いたり読んだりした話の読み聞かせで興味・関心を高める。そして、お伽草子に見られる共通点（庶民の成功物語）を探ることから課題につなげ、予想を立てる際には「民衆が主人公」「弱いものが強いものを打ち負かす」「ハッピーエンド」「これまでの時代の庶民との比較」という視点を示し、追究の視点に向けられるようにする。</p> <p>藩の収入増加や農民の生活向上のためには、どのようなことが必要だったのか予想を立てさせる。</p> <p>大名や武士の生活は、何によって支えられていたかを考えさせる。</p>
	公民	<p>単元「消費と貯蓄」において、消費活動シミュレーションを行う。具体的には、いくらあれば東京で一人で暮らせるのか予想させ、一ヶ月20万円での生活について追究させる。</p> <p>単元「国民生活と福祉、政府の仕事と租税」において、財政の課題について予想させる。</p> <p>日常生活でよく使う商品が生産されてから、店頭で販売されるまでの流通の過程をグループで絵に表させる。</p>	<p>様々な物価を示す（補助資料を用意する）。</p> <p>絵図に示す際、絵だけではなく必要な説明なども文字で表現させるなど、各グループで自由に形式を考えさせる。</p>
	地理	<p>「アメリカ合衆国の人種・民族構成」を示したグラフの読み取りから、その構成理由について考えさせる。</p> <p>E U加盟国内で単一通貨が使われている理由について考えさせる。</p> <p>過疎はどのようなことなのか考えさせる。</p> <p>東京とブエノスアイレスの雨温図を比較し、同じ気候帯なのにグラフの形が異なっている理由について考えさせる。</p> <p>「日本企業のおもな電機製品の国内生産と海外生産の割合」を示したグラフから、割合に変化が起こった理由について考えさせる。</p>	<p>アメリカ合衆国の歴史や国家の成り立ちを調べさせたり、日本との比較をさせたりしながら考えさせる。</p> <p>国ごとに通貨が異なっていた、E U発足以前の様子を紹介する。</p> <p>高齢化だけではないことの認識をもたせる。</p> <p>両都市の位置を世界地図上で確認させる。</p> <p>海外生産の割合が大きく増加したことを読み取らせた上で、その理由を考えさせる。</p>
意味	歴史	<p>文化史の学習においては、その文化の特色を時代背景の中にとらえさせる。為政者の意図や文化の担い手の層などから、その時代の政治・外交・経済・社会の特色を全体的にとらえさせる。</p> <p>戦国大名の登場と支配体制の確立に関して、上杉謙信と武田信玄についてグループで調べさせ、その後、全体で思考し、共通認識させる。</p> <p>岩倉使節団が不平等条約の改正に失敗した理由を考えさせる。</p> <p>「お雇い外国人と日本人の月給の比較」を示した表から、外国人を高額な給料で雇った理由を考えさせる。</p>	<p>文化遺産の写真や文章、絵などの資料を提示し、時代の特色となるものを見つけさせる。仏教などは前の時代と比べることで、中国・朝鮮半島などアジア地域とのつながりを確認させる。</p> <p>短い時間で調べさせるので、出自・勢力拡大・権力維持に焦点を絞る。</p> <p>当時の日本の国内状況について考えさせる。</p> <p>「富岡製糸場工場長のポール・ブリューナの月給600円」なども合わせて紹介する。</p>

	<p>明治政府が、地租改正で米の現物徴収から現金による納税に変化させた理由について考えさせる。</p> <p>日本政府が「三国干渉」の要求を受け入れた理由について考えさせる。</p> <p>「昭和天皇と連合国軍最高司令官マッカーサー」の写真を見て、マッカーサーがこの写真を撮らせ、公開させた理由について考えさせる。</p>	<p>現金による納税の利点について考えさせる。</p> <p>当時の日本とロシアの国情について確認させる。</p> <p>この写真を見た感想を自由に言わせ、それを基に考えさせる。</p>
公民	<p>単元「生産の仕組み」において、株式購入シミュレーションを行う。</p> <p>「共生社会とは何か」その意味だけではなく、多くの資料を基に、なぜそのような社会を目指しているのかを考えさせる。</p> <p>沖縄県を中心とする米軍基地について、背景と課題を考えさせる。</p>	<p>新聞を活用する。</p> <p>あまり多くの資料を与えすぎると混乱してしまうため、教科書と各自で持っている資料集を活用させる。</p> <p>歴史学習との関連を図ったり、資料として「地元の方の声」を取り上げたりする。</p>
関連	<p>中国の自然・人口・産業・農産物・経済格差との関連を考えさせる。</p> <p>アメリカ合衆国と中国との工業を、原料加工の工業と先端工業に分け、調べ、その特色について話し合わせる。</p> <p>「各国の年少人口と老年人口の割合」「おもな国の平均寿命」「老年人口率の推移」を示したグラフから、人口ピラミッドの形と各国の傾向についての関連を考えさせる。</p> <p>「各国・地域の一人あたりのカロリー摂取量」を示した資料から、主な国のカロリー摂取量とその内訳についての関連を考えさせる。</p>	<p>白地図に記入しながら、それらを合わせて考察させる。</p> <p>原料加工型と先端工業型の工業地域を地図で確認させておく。</p> <p>「おもな国の平均寿命」と「老年人口率の推移」のグラフをしっかりと読み取らせ、その結果と人口ピラミッドの形との間の関連について考えさせる。</p> <p>先進国と発展途上国の生活の違いを想起させながら考えさせる。</p>
	<p>「ロシア革命」の影響が、「米騒動」というかたちで表れた経緯を説明させる。</p> <p>普通選挙法の制定と治安維持法の制定という相反する法律が、同一内閣で同時期に行われたということについて、民主主義という概念から関連させてとらえさせる。</p>	<p>ロシア革命について、「何が起こり」、「その影響としてどうなったのか」を順を追って説明させる。</p> <p>普通選挙の実施によって起こる社会の変化をとらえさせることで、当時の政府の民主政治に対する考え方を予想させる。普通選挙による選挙結果の資料と治安維持法改定の資料を活用する。</p>
	<p>単元「大量消費社会の実現」においてポスターセッションを行う際、発表内容をメモし、関連性を考えさせる。</p> <p>三権分立制が取られている理由を考えさせる。</p>	<p>テーマ設定を重視する。</p> <p>立法・司法・行政の三機関が関係し合っていることを理解させ、意義を考えさせる。</p>
	<p>沖縄などの観光地の開発と自然保護について考えさせる。</p> <p>中国の一人っ子政策をグループでまとめた後、最初のグループとは異なった編制をしたグループを作り、再びそこで話し合わせる。</p> <p>「ハンバーガーセットの材料はどこから」「おもな国の穀物自給率」「おもな国の1haあたりの穀物の収穫量」「国内産農産物と輸入農産物の価格のちがい」「日本の農業人口の変化」「日本の農産物生産の変化」の資料をグループで分担して分析し、互いの情報をもちよって日本の農業の特徴についてまとめさせる（ジグソー学習）。</p>	<p>理由をはっきりさせる。</p> <p>答えは一つではなく、複数あることを意識して自由に発言できる雰囲気を作る。</p> <p>それぞれの資料をしっかりと読み取り、それを伝えられるように確認の場を設ける。</p>
総合①	<p>承久の乱の学習で「朝廷方・幕府方どちらに従うか」でディベートを行う。自分の考えを作ってから交流タイムをとり、意見交換をし、新たな資料を読んで自分の考えを練り直し、再度ディベート形式で話し合い、最後に自分の考えをまとめさせる。</p> <p>欧米諸国は自由や平等の思想が広まったにもかかわらず、世界各地の国々を植民地として支配していった理由について考えさせ、意見交換をさせる。</p> <p>「尊皇攘夷運動」が「倒幕運動」へと変化していった理由について考えさせる。</p>	<p>一回目の交流タイムでは教室内を自由に動き回り、数人と意見交換をさせることで、全員が自分の考えを他者に伝える体験をさせる。二回目の交流では全体での話し合い活動にすることで、深い考えをもった生徒の意見に触れさせ、考えを広げさせる。</p> <p>欧米諸国での自由や平等の思想はだれのためのもので、海外進出の目的は何だったのかという点から考えさせる。</p> <p>幕府がとった欧米諸国に対する政策と、その結果について考えさせる。</p>
	<p>単元「国際社会と人権」において、新しい人権問題についてグループディスカッションを行う。</p>	<p>臓器移植問題などは、する側・される側の立場の道徳的資料を用意し、深く考えさせる。</p>
	<p>アメリカの産業を、農業・工業・商業を分担して調べ、調べた結果を伝え合わせる。</p> <p>アメリカ合衆国の学習のまとめにおいて、アメリカ合衆国の拡大地図上に、自分なりの観点を踏まえ、まとめさせる。</p>	<p>調べた資料を友達に示して説明できるようにする。</p> <p>生徒一人一人の観点をを見つけさせるのが難しいので、支援が必要となる。</p>

総合②	地理	日本が環太平洋造山帯に属していることによるメリットとデメリットを考え、まとめさせる。 「日本のおもな山地・山脈」を示した地図から、日本の山地・山脈の分布の特徴を考え、まとめさせる。 日本の六つの気候区分について、それぞれがそのような気候となる理由について考え、まとめさせる。	造山帯と火山、地震、温泉の分布を比較させる。 ①山地と平地の割合、②分布している位置、③山脈が走っている方向、の三点について、どんなことが言えるのか考えさせる。 既習事項である日本の位置や地形の特色を想起させる。
	歴史	奈良時代と平安時代の和歌を作って、和歌ボクシングを行う。 単元のまとめとして、その時代に生きている記者の目で、その時代のできごとを報じる新聞形式のレポートを作成させる。その際、メインの記事、サブの記事、自分の考えを書くコーナーを作ること、地図、表、グラフ、イラストなどを活用することを条件とする。	額田王や藤原道長の和歌を想起させるとともに、政治、経済、文化、人物などの視点から和歌を作らせる。 あるできごとを報じる際、いろいろな立場からとらえさせて様々な意見として盛り込ませたり、資料を正確に読み取り、活用させたりするよう注意する。自分なりの考えをもち、記述することを大切にする。
	公民	単元「消費者の権利と保護」において、悪徳商法への対策としてポスターをつくり、発表し合う。 単元「人権と共生社会」において、日本国憲法における人権についてまとめさせる。 「どうすれば裁判がもっと身近になり、利用しやすくなるか」について調べたことを基にまとめさせる。	あまり複雑なものは扱わない。 司法制度改革について調べさせる。
分析②	地理	食料自給率が低い理由を、グラフや写真、統計資料から見いださせる。 地理的分野において、気候帯の分布図と各地域の写真から、それぞれの雨温図の特色を読み取らせる。 フランスについて各自が学習計画を立て、一人一人にまとめさせる。	表題を確かめさせ、表題にヒントがあることに気付かせる。 教師が項立てをする。
	歴史	「江戸幕府はなぜ長期政権を保てたのか」という課題に対し、信長・秀吉の政策を踏まえながら、全国の仕組み（政治の仕組み、大名・農民統制、外交政策）、幕府の経済力に関する資料を用意し、読み取りや関連付けをさせる。 18世紀イギリスで、「資本家が労働者を雇って生産する仕組み（資本主義）」が広まった理由について考えさせる。 明治政府内で征韓論を主張した人々と反対した人々は、なぜそのような考えをもったのか、それぞれの立場に立ってその理由を考えさせる。 大日本帝国憲法が、プロイセンの憲法を手本にして作られた理由について考えさせる。	徳川政権を脅かす存在は何か、権力をもち続けるにはどんな力が必要かなど、考える視点を示す。信長・秀吉の政策の成功例、失敗例を挙げさせ、手だてを考えさせる。 機械の改良や動力の発明（産業革命）によって、物づくりや人々の生活の変化という点から考えさせる。 それまでに、どのような行動をとってきた人たちかについて考えさせる。 イギリス、フランス、プロイセンの当時の政治体制の様子を調べてから考えさせる。
	公民	単元「選挙の仕組みと課題」において、日本のこれまでの選挙法を比較し、改善された点、課題を見いださせる。 ハンバーガーショップの経営者として新しく開店するならどんな場所を選ぶかを考えさせる。 例えば「臓器移植」に関して、複数の新聞記事を取り上げ、読み取らせる。	補助資料を用意する。 地図を読み取り、集客しやすい場所はどんなところか考察させる。 一つの事象についても様々な意見があることを理解できるようにする。
批判	地理	日本のエネルギー問題をコストと自然環境から考えさせる。	実生活とのかかわりをもたせたり、長期的な考え方をさせる。
	歴史	承久の乱で幕府側と朝廷側の二手に分かれてディベートを行う。 日露戦争が起きた理由について、日清戦争を振り返りながら、「個人の予想→小グループの予想」を重ねさせ、まとめの過程で再度理由を話し合わせる。 明治維新の近代化政策についてキャッチコピーを作る学習で、まず個人で作成した後、班で検討し、班の作品を提案する。さらに学級で検討し、学級としての作品を作り上げさせていく。 明治時代に、西洋画にも日本画にも美術史に残るような優れた作品が多数制作された理由について考えさせる。 各国が世界恐慌を乗り切るための政策を行う中、ドイツ、イタリア、日本が軍事侵略による解決の道を選んだ理由について考えさせる。	院宣や北条政子の訴えなどの資料を解釈させた上で自分なりの意見をもたせる。 時間がかかるため、日露戦争開戦からポーツマス条約までの流れを軸にワークシートを工夫する。 各個人が作品を作成できるかどうか、まず出発点なので、個別指導を丁寧に行う。作品の作成条件を明示しておき、班や学級で検討させる際には、その条件に照らし合わせて評価させる。 黒田清輝、フェノロサ、横山大観らの作品を紹介しながら、時代背景や彼らの思いを想像させる。 イギリス、フランス、アメリカ合衆国、ソ連各国の政策と比較しながら考えさせる。

		日中戦争、太平洋戦争に対し、当時反対した人もいたはずなのに、日本が戦争に突き進んでしまった理由について考えさせる。 アメリカ合衆国が原子爆弾を使用した理由について考えさせる。	法律、教育、報道などの視点から考えさせる。 アメリカ合衆国にとって、原子爆弾の使用がどのような意味をもっていたのか考えさせる。
	公民	単元「世界の子どもの問題」において、世界の実態を踏まえた上で、「今の子どもは幸せか」と投げかけ、話し合いをもつ。	現代社会の課題をとらえ、命の大切さにもふれる。
多面的・多角的	地理	人口の問題から自分たちの地域の特色を調べ、解決方法を考えさせる。 単元「人口・食料問題」において、給食の食べ残しの現状などから、先進国の課題について追究させる。 日本とアメリカの貿易は、自由貿易と保護貿易のどちらがよいか考察させる。 日本の自然災害のうち、冷害、台風、津波の被害を受けやすい地域の特徴について考えさせる。 「日本の人口密度とおもな都市」を示した地図から、人口密度の高い地域、低い地域の特徴について考えさせる。 石油の輸入が途絶えると、我々の生活で困る点について考えさせる。	総合的な学習とのかかわりをもたせた。 身近な話題から取り上げる。 ロールプレイングを取り入れて様々な視点から事象をとらえられるようにする。 気候、海流、地形などの手がかりを与え、関連を考えさせる。 既習事項である日本の地形、気候の特徴を想起させながら考えさせる。 身の回りの石油製品だけでなく、電力、交通機関の燃料としての利用も想起させる。
	歴史	日清・日露戦争における列強諸国の動向について考察させる。 明治の近代化政策「徴兵令」をとらえる際、欧米諸国に対抗できる近代国家づくりを推進する政府と、四民平等の中で生き方を模索する士族、負担に苦しむ農民の立場からとらえさせたり、他の時代の制度と比べたり、他の近代化政策との関連をとらえたりさせる。	風刺画や地図を用いた地理的条件などを手がかりとして考えさせる。 社会的事象の真理に迫るためには、複数の視点からとらえることが必要である。同時代の異なる立場、異時代の同類の制度、同時代の他の事象との関連などをとらえさせ、生徒の考えを広げ、最終的には自分の考えをもつことができるようにさせたい。
	公民	悪質なものを含め、様々な商法があることを知らせ、その中で我々消費者は、どのような消費活動を行っていくべきか、また、現状はどうなっているのかを考えさせる。	商法の説明は絵図などを活用して分かりやすく短時間で言い、主となる考える活動の時間を十分に取る。
	地理	単元「東北の冬の暮らしを考える」において、交通の発達、観光、工業の発展へと考えさせる。	
類推②	歴史	江戸幕府の身分制度、明治維新の四民平等の学習では、現在の自分の社会と対比させたり、現代社会にも残る人権問題にも気付かせたりするなど、公民の学習へつなげる。 日本国憲法で平和主義を唱えているにもかかわらず、自衛隊が設置されている理由について考え、説明させる。また、自衛隊についての自分の考えをまとめさせる。 沖縄県をはじめ、日本各地にアメリカ軍の基地がある理由を考え、説明させる。また、そのことについての自分の意見をまとめさせる。	人権尊重という理念は、社会科における根幹であると考えられるので、常にこの視点から事象をとらえる姿勢を示している。 東西冷戦の中で、日本の置かれた立場を基にして考えさせる。 連合軍の占領、東西冷戦、日米安全保障条約などの視点から考えさせる。
	公民	単元「家族と社会生活」において、20年後の家庭シミュレーションを行う際、現代社会の課題を見いださせる。 本来は導入教材として使われる「ハンバーガーショップの経営者になろう」を発展的に活用する。生活と経済の学習終了後、自分の街に出店するとしたらどこがよいか理由を付けて、その出店場所を考えさせる。 模擬裁判の資料を通して、その意義と課題について考察させる。	考えた出店場所について、理由を付けて発表するだけでなく、それについて、周りの友達と意見交換をさせる場を作っていくことも大切である。 コンパクトにまとめられた映像資料を用意する。



八つの考える視点を取り入れた学習指導の意図的、総合的、継続的な実施のポイントとして、このようなことが考えられます！

◆**地理的分野における意図的な実施例としては…**

- 日米貿易を題材にして、「日本の政府」「アメリカの政府」「日本の農業者」「アメリカの農業者」「日本の消費者」などの立場に分かれて討論ゲーム（ロールプレイング）をするなど、事象を視点を変えて見られるような学習を展開する。ゲーム的な活動にすると生徒は取り組みやすくなります。

◆**歴史的分野において実施するとすれば…**

- 「比較」「関連」の視点は、時代間の事象を検討させます。「意味」の視点は、社会的事象の原因・要因・背景と結果・影響をとらえさせることで明確化させます。「総合」「批判」「類推」の視点は、学び合いの場面を設定し、意見交流を図ります。「分析」の視点は、適切な資料の準備と読み取りの視点を明示します。「多面的・多角的」の視点は、例えば為政者・民衆といった異なった立場から一つの事象をとらえさせます。

◆**公民的分野における意図的な実施例としては…**

- 単元「大量消費社会の実現」におけるポスターセッションの発表内容から、さらなる思考の深まりを期待できます。

◆**論理の図式化を用いた授業を…**

- 論理の図式化を用いた授業を意識し、繰り返し実践していく。例えば、ツールミンモデルを用いて、結論を支える根拠を「データ」と「理由付け」に分けて、「結論」「データ」「理由付け」の三つを議論の基本要素として図式化する。図式化することで学習内容をとらえやすくなります。

◆**学習内容の定着、資料の質、考察ポイントの明示なども大切…**

- 八つの考える視点を取り入れた学習指導を実施するためには、学習内容をしっかりと定着させておくこと、整理させておくことが必要です。そのための支援としては、板書やノートの取り方の工夫を挙げることができます。また、一年生からの学習訓練の積み重ねが大きなポイントになってきます。
- 「事象に対する強い興味・関心をもたせ、深い理解を導くことができるか」という資料の質が大切になります。
- ねらい、資料、考察のポイントなどを具体的に明示することも大切です。
- 話し合う目的を生徒に理解させてから話し合わせます。その際、相手の意見を聞き、自分の意見を発表していく中で「話し合いメモ」を各班に持たせ、まとめていきます。その中で、共通理解を図る。このような一連の流れを繰り返し行っていくことも大切です。
- ノート指導を徹底すること、評価・評定を明確に行うことが大切になります。また、考える活動を実施するためには、基礎的な社会科用語の理解をさせることも大切です。

◆**授業設計の工夫、話し合いの工夫も必要…**

- 導入では、いつも自分の日常生活から出発し、学習したことを他の事象に発展させたり、未来へ結び付けたりさせることが大切です。また、生徒の学習意欲を高めるには、身近な社会現象が発展して、いろいろな社会現象に広がることを常に意識させることも大切です。
- 比較や関連については、振り返り学習という視点で既習の内容とのかかわりをもつようにすることも大切です。
- 「この時間はどんなことを考えさせようか」という視点から授業を構成していくことが大切です。
- 継続的な指導の積み重ねが大切です。そのために教材研究を深く行い、単元計画をしっかりと練ることが重要になります。
- 「活用」がキーワードになります。資料を基に考える学習をベースに、考えをまとめる活動を展開します。考えが複数予想できる資料を単元の中に計画的に取り込むとともに、お互いの考えを知り合う場面を設定することが必要です。
- 小グループを作り、一つの事象について短時間で話し合わせます。話し合う時間は内容にもよりますが、三～五分を設定します。発表には磁石付きホワイトボードを活用する方法もあります。
- 生徒が話し合ったことを発表した後、教師が違った視点からの見方を示し、もう一度話し合わせるようにします。また、課題の答えは一つではないことに言及することも大切です。

提言2

問題（課題）解決的な学習を、各分野とも学期に一単元以上取り入れましょう。

学習指導要領に示された内容別にみる学習課題例

単元名、及び学習問題（学習課題）については、調査研究で実施したアンケート調査の記述回答と、聞き取り調査を通して収集しました。そして、新旧学習指導要領に示された内容を対応させた上で、分野ごとの一覧表を作成しました。



〔地理的分野〕

本分野は内容的に新旧の異同が大きく、厳密な対応となっていません。表中の「*」が、その該当箇所を示しています。

新	旧	単元名	学習問題（学習課題）
(2)ア	(1)イ(ア)	日本のすがたとさまざまな地域	日本の位置を説明しよう（日本の位置を調べよう）
		日本のすがたとさまざまな地域	沖ノ鳥島は日本に必要なのか（日本の広さを調べよう）
(2)エ	(2)ア	身近な地域を調べよう	高崎市の現状と特色をとらえ、課題を考えよう
		身近な地域の調査	南橘地区の過去、現在、未来
		〃	沼田市の歴史を調べよう
(2)ウ*	(2)イ*	都道府県の調査（東京都）	首都としての役割をとらえ、環境や暮らしについて考えよう
		〃（東京都）	首都東京の特色を調べよう
		〃（山形県）	自然環境と土地利用の関係について農業を中心に考えよう
		〃（岩手県）	岩手県の自然や産業について調べよう
		〃（福岡県）	福岡県が九州地方の中心となっている理由を考えよう
		〃	他の都道府県について調べよう
		群馬県を調べよう	他県の人に群馬県の特徴を知らせよう
		〃	群馬県を多面的に調べよう
		〃	群馬県の自然や産業について調べ、岩手県と比較しよう
(1)ウ・エ*	(2)ウ*	国内の地域のちがいに注目して国を調べよう～中国～	沿岸部で工業が発展しているのはどうしてだろう
		世界一の人口をもつ中国	中国が最近急成長をするようになったのはなぜだろう
		〃	中国の人口と産業を考えよう
		〃	人口問題をかかえる中国の国づくりとは
		ほかの国との結び付きに注目して国を調べよう（アメリカ合衆国を例に）	アメリカが世界No.1の国であることを様々な角度から証明しよう
		多面的に考える（アメリカ）	アメリカと日本の関係を考えよう
		多様なすがたをもつアメリカ	アメリカはなぜ世界をリードする国になったのだろう
		〃	何でも世界一、アメリカ合衆国の秘密を探ろう
		世界との結び付きを強めるフランス	ヨーロッパの中のフランス、どんな国？
(2)イ(イ)	(3)ア(イ)	人口の特色をとらえよう	過疎地域の人口を増やすためにはどうしたらよいか。
		〃	日本の人口は、なぜ大都市に集中するのか、過疎はなぜ進行するのか～日本の人口問題について～
		人口の特色	過密・過疎地域の特色や問題点を調べよう
		世界と日本の人口	世界の今後を考える
(2)イ(ウ)	(3)ア(ウ)	資源や産業の特色をとらえよう	日本の工業マップ、農業マップをつくらう
		〃	日本人の食べ物はどうなるのか
		世界と日本の資源と産業	日本の産業の特徴と問題点はなんだろう

〔歴史的分野〕

新	旧	単元名	学習問題（学習課題）
(1)ア	(1)ア	ガイダンス	なぜ歴史を学ぶのか～信長の肖像画を活用して～
		歴史の流れ	人やものの移り変わりについて調べよう
(2)イ	(2)ウ	東アジアの中でのヤマト王権	東アジア地域とのかかわりは、天皇中心の国家を形成していく過程でどんな影響があったか
		律令国家の形成と展開	聖徳太子の政治、大化の改新、律令の制定を通して日本の国はどのように変化したか
(3)ア	(3)ア	武士の台頭と鎌倉幕府	武士を中心とした社会がどのように確立していったか
		〃	なぜ武士は合戦において名のりをあげるのだろうか？～武士のタテマエとホンネに着目して～
		中世の日本	鎌倉幕府の特色をまとめよう

		〃	侍う者が、どのようにして権力を握り、政治を行うようになったのか～古代と中世の違い、武士とは何者？～
(3)イ	(3)イ	〃	室町時代の特色をつかむ～お伽草子から時代を探ろう～
		〃	現代につながる、室町時代の人々のくらし
(4)ア	(4)ア	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパ人は、どのようにして世界へ進出したのでしょうか
		近世の日本	戦国大名はどのように国を治めたか
(4)ア	(4)イ	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	なぜ信長・秀吉が戦国に終止符を打てたのか？～彼らのもつ感性に着目して～
		世界の動きと天下統一	この時代、政治や社会で大きく変わったことは何だろう
(4)イ	(4)ウ	幕府の体制と東アジア	江戸幕府が260年間続いたのはなぜだろう
		近世の日本	江戸幕府は、なぜ長期政権を保てたのか？
(5)ア	(5)ア	世界の生活を変えた産業革命	イギリスの産業革命により世界はどうなったか
(5)イ	(5)ア	ペリー来航から開国へ	ペリー来航により幕府はどうなったか
		欧米の進出と日本の開国	日本は開国すべきか、鎖国を続けるべきか（ディベート活動）
		開国と近代日本	18世紀末から19世紀になると、欧米諸国の船が鎖国している日本に頻繁に来航するようになった。それはなぜか
		〃	黒船の来航は、日本にどんな影響を与えたか～開国は是か非か～
(5)イ	(5)イ	明治維新	新政府はどのような国をつくらうとしたのだろう
		〃	明治政府の政策は、人々が期待したものであったか～明治政府の評価～
		〃	江戸幕府を倒してたてられた明治政府は、どのような国づくりを目指したのか？
		近代日本の歩みと国際社会	明治の近代化政策をキャッチコピーで表現しよう（明治維新の中）
		新しい価値観のもとで	明治政府はどんな国をつくらうとしたのだろう
(5)ウ	(5)ウ	日清、日露戦争と近代産業	日本は東アジアをどのように侵略したのか
		日清・日露戦争	日本はロシアと戦うべきであったか？
(5)オ	(5)オ	第一次世界大戦と日本	人々は何を求めたのか？
		平和を求め声と独立を求め声	第一次世界大戦後にアジアで民族運動が起こったのはなぜか
(5)カ	(5)カ	日本がアジアで行った戦争	太平洋戦争が起こった原因は何か
		世界恐慌と各国の選択	世界恐慌は日本にどのような影響をおよぼしたか
		第二次世界大戦と日本	戦争とは何か？何のためか？誰のためか？
(6)ア	(5)キ	現代の日本と世界	平和とは？
		〃	社会の成立、発展、変革
(6)イ	(5)キ	変化する世界と日本	世界全体の将来

〔公民的分野〕

新	旧	単元名	学習問題(学習課題)
(1)ア	(1)ア	現代社会を探ってみよう	現代社会の特色を様々な角度からとらえてみよう
		現代社会とわたしたちの生活	戦後の昭和史を調べ、ポスターセッションを行う
		〃	現代社会は、どのようにつくられ、どんな問題があるのか
		〃	現代のわたしたちの暮らしや生活がどのようにしてつくられてきたのか
		〃	高度経済成長後の現代社会の特色
		〃	少子高齢化社会 日本はどうなるのか
(2)ア	(2)ア	市場価格	市場価格の決定
		市場経済と金融	価格の決め方、役割、動きなどについて多面的・多角的に考察できたか
		〃	職業の意義と役割、雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考え、公正に判断できたか
		ハンバーガーショップの経営者になってみよう	ハンバーガーショップの出店、経営に対し、経営者、消費者の立場からそのよりよい方法を考える
(2)イ	(2)イ	わたしたちの暮らしと経済	将来性のある会社に投資をしよう
		〃	豊かさとは政治と経済
		わたしたちの生活と経済	経済を動かしているものを探ろう
		〃	賢い消費者になろう
		国民生活と福祉	租税の使われ方について（税の作文にまとめた）
		〃	税と国民生活について考える
(3)ア	(3)ア	ともに生きる①	現在も残っていると思われる差別について調べ、その解決方法を考える

		人権と共生社会	人権とは何だろう
		〃	違いを認め合う
		人権と日本国憲法	平和主義と安保闘争について考える
		〃	基本的人権を尊重するとは
		〃	米軍基地は必要か
(3)イ	(3)イ	国の政治のしくみ	行政と内閣（新聞利用で内閣の大臣や仕事調べ）
		〃	どうすれば裁判がもっと身近な存在になるだろうか
		〃	死刑制度の存続について
		現代の民主政治	政党について（特色などの調べ学習）
		〃	選挙について（新聞利用の調べ学習）
		〃	よりよい社会実現のために、わたしたちができることは何だろう
		〃	裁判員制度とえん罪について考える
		地方政治と自治	群馬県について
(4)ア	(3)ウ	地球社会と私たち	地球上で今、どんな問題が起こっているのか調べよう
		国際社会と世界平和	なぜ紛争はなくなるのか
		〃	核の抑止力が、核廃絶か
		地球社会とわたしたち	豊かさと政治と経済



問題（課題）解決的な学習を実施する上でのポイントです！

◆問題（課題）解決的な学習の実施に当たっては…

- 単元計画を作成し、問題解決的な学習を授業に定着させることが大切です。つまり、問題解決的な学習のスタイルを決め、そのスタイルを繰り返し活用することで、学習スタイルとして定着させることが大切です。
- 授業者が身に付けたいと思っている力を育成するのに適した実践例や、思考力を育成するための授業実践例がインターネットなどで紹介されているので、それらを参考に、生徒の実態に応じてうまくアレンジするのがポイントです。すべてを自分で構想するわけではないので準備の時間を削減できます。
- あらかじめ「課題を作るのに一時間」など、何を何時間程度でやっていくのか学習の流れやそれに使用する時間を示しておくことが大切です。そして、時にはその時間内にできなかったものを、ゆとりのある休憩時間や家庭で補うようにすることも必要です。
- 年間指導計画の中で問題解決的な学習を実施する単元を定め、単元構想を立てます。そうすることで授業時間の確保という問題はクリアできます。
- 生徒の日常生活から生まれた課題から始まり、学習終了後、生徒の日常生活に戻ってくる課題を教師がいくつか準備し、生徒がそれに行きつくような意図的な指導を行うことも大切です。
- 問題解決の基になる基礎・基本を身に付けさせることも大切になります。

◆学習課題設定に当たっては…

- 課題（テーマ）づくりを丁寧に、生徒が何を解決するのかをはっきりさせることが大切です。
- 授業において、課題が学習内容に合致したもので、予定された時間内で解決できるものか（難易度）などを少人数グループで話し合える簡単な課題検討会を設定します。このとき、必要に応じて教師の支援も大切になります。
- 生徒が興味・関心を高め、「なぜだろう、どうしてだろう」という意識をもつことが重要です。そのための教材の条件は、生徒が疑問を感じるもの、矛盾を感じるもの、身近な話題として感じられるものがあると考えます。自作資料や活用資料の精度が大切になります。
- 課題は生徒が興味・関心の高い事象から引き出したり、歴史で言えば時代の本質に迫るキーワードから設定したりします。最終的には課題は教師側から与える方法も考えられます。

◆学習活動を取り入れるに当たっては…

- どんな学習活動を取り入れればよいか探るために、必要に応じてアンケート調査を行い、生徒の実態を把握することが大切です。
- 既習事項を基に考えられるような発問を心がけることも大切です。
- 課題設定の後、課題追究に向かうプロセスを学習計画として示し、単元を通じて課題を意識させ、一単位時間ごとの課題も明確にし追究させていきます。そして、一単位時間ごとに考えたことを記述させることが大切です。また、単元の最後には、課題についての答えを自分なりに表現させ、自分の考えを記述させることも大切です。生徒自身が学習の目的とプロセスを理解し、見通しをもって取り組めることが重要になります。
- まとめや整理の段階で、調べたこと、聞いたこと、アンケートなどで調査したことなどに対して、ただそのまま書き写すのではなく、必ず自分の考えや思いを加えるように指導することが大切です。

◆簡易型の問題解決的な学習の導入も…

- 問題解決的な学習の時間を短時間でも取り入れることも有効と思います。
- 課題づくりのための資料提示、課題の設定、調べ方の検討、資料集めとその検討、まとめ、さらにそこから生じる次の課題の設定など、本格的な問題解決的な学習を行うには時間も労力もかかるので、課題の設定や資料の準備など、部分的に教師が準備しておく「簡易型」の問題解決的な学習でもよいのではないかと思います。あまり形にとらわれずに「こうなんだって」という教え込み型の授業から「どうしてなんだろうね」という考えさせる場面を多く設定する授業を心がけてもよいと思います。

提言3

指導内容を精選し、思考場面や思考活動を意図的に取り入れた単元設計や授業設計に努め、発問、教材、学習活動の工夫を心がけ、生徒が短時間でも思考する体験を積み重ねられるようにしましょう。

授業中、生徒が思考する時間を作り出すことに関する指導方法の実践例及びポイントです！

◆単元設計・授業設計の工夫が必要…

- 一つの単元を学習する流れの中に、思考の時間を組み入れるようにします。
- 毎回の授業に最低一つは「資料を基に考える」「事象を結び付けて考えを生み出す」などを設定するようにします。一回一回の積み重ねが思考力の育成につながります。
- 思考力の向上を図るため、話し合い活動を大切にします。話し合いについては、三分程度でまとまるような発問を工夫し、一単位時間の中で一～二回程度そのような場面を設定します。
- 知識の習得を効率的に行うことが大切です。
- 学習内容の精選を中心として授業改善を図ることが大切です。
- 単元、あるいは単位時間の中で「教え、知らせる時間・場面」と、「考え、学びとらせる時間・場面」の区別を明確にすることが大切です。
- 指導の重点化を図り、学習する内容を効率化した授業を行うことが大切です。そして、そのための単元構成を工夫することが大切になります。
- 思考的な要素を伴う学習はどうしても時間がかかるため、すべての単元で実施しようとせず、生徒が興味や関心をもてそうな単元で行えるよう内容を吟味し精選することも大切です。

◆家庭学習の活用も…

- 授業時間では活動のポイントをしっかりと伝えるときにも、家庭学習に任せる部分は任せるというスタンスも必要です。この場合に関しては、取り組んだ手ごたえの得られるもので、取組が評価されるよう工夫することが必要です。
- 予習用の学習プリントを作成し、授業で活用するようにします。その中に、できるだけ思考的な内容をもつ課題を入れることも大切です。家庭学習により時間的にゆとりをもって考える場を作ることができます。また、それを授業で発表することで、自分の考えを確かめたり友達の考えを聞いたりすることで、考えを広げることができます。
- 「調べる」活動で、家庭学習で行えるものについては、宿題として行わせ、授業ではそれを基に考えさせる時間を多くとりまします。「覚える」活動についても家庭学習の課題として行わせ提出させます。また、「思考する」時間は生徒によって差が大きいいため、考え方やヒントを授業の中で示し、考えたりまとめたりする活動を家庭学習の課題とするなどします。
- 社会的事象の存在（いつ、どこで、だれが、何を、どうした）の認識については、事前学習で行えるように、家庭学習や授業開始五分間での教科書読みを徹底させると、思考の時間を作り出せます。

短時間でも実施可能な指導方法に関する実践例、ポイント、留意点です！

◆授業設計の工夫…

- 一単位時間の終わりにおいて、振り返りカードに学習内容についての感想や疑問を記入させ、よい考えを紹介したり疑問を課題に学習したりさせます。また、講義型の授業であったとしても、授業の最後に感想や考えたことも書かせることはできます。
- ツールミンモデルを用いた授業実践を行っています。
- 一単位時間の中でも、一つ考えさせる発問を用意するよう授業展開を工夫しています。例えば、導入の場面で、本時の課題に迫る資料提示をし、予想させたり、中心的な資料の読み取りの場面に時間を多くとり、考えさせたり、学び合いをさせたりしています。
- 本時の主発問は、黒板などに必ず提示することが大切です。
- 意欲をいかにもたせるか、発表力や表現力の育成も大切になります。
- 大きい課題にならないようにします。難しい課題だと、どうしても時間がかかってしまい、実施できなくなるので、思考活動を繰り返し行うようにします。例えば、公民の単元「“世界の平和のために” 私たちにできることは」において、星新一著『来訪者』を読み聞かせた後、感想文と平和についての自分の考えを書かせる実践もあります。
- 学習プリントを活用する方法があります。例えば、「臓器移植法」においては、臓器移植法とは何かをプリントで説明し、論点もプリントで配布します。そして、自分の考えを書かせた後に討論を実施します。最後に、まとめとして自分の考えを書かせる実践もあります。

◆交流・話し合いの工夫…

- 話し合いの中で思考力の向上を図るため、話し合いについては、三分程度でまとまるような発問を工夫し、一単位時間の中で一～二回程度そのような場面を設定します。そして、話し合いのルールをあらかじめ提示した上で、バズ・セッションの手法を取り入れる方法もあります。
- 学習プリントを活用し、家庭学習で自分の考えをまとめてくると、これを基に話し合いを時間内で行うことが可能になります。課題としては、このような活動ができるように、一年生の時から簡単なもので学習訓練を進め、例えわずかなことでも、自分の力で考え、まとめてくるという学習習慣を身に付けさせていくことが大切です。

提言4

積極的に先行研究を学んだり研修講座や公開授業に参加したり、授業公開したりしましょう。



先生方を支える学校組織などにおける取組の改善と充実が必要です！

◆思考力育成にかかわる指導方法についての知識・理解を深め、授業で活用するために…

- 年間指導計画に具体的な手だてを掲載することが大切です。
- 教科主任会や校内部会において思考力育成にかかわる研修機会を設定することが大切です。
- 校外研修に積極的に参加できるような学校の社会的風土を向上させることが大切です。
- 教育行政施設においては、本調査研究の分析結果を基にした研修機会を提供することが大切です。

◆学習環境の整備、改善と充実が指導方法の獲得や授業改善につながります…

- 新学習指導要領の完全実施前に地図などの資料を拡充することが大切です。
- 教員が個人で所有している資料を共有化することが大切です。

日頃感じている思考力育成にかかわる課題、それに対して考えている方策（聞き取り調査の回答より）

◆課題

- 身近な問題として社会的事象をとらえられるか、知識・技能が身に付いているかが課題です。
- 日常生活の中で、どのように社会的事象への興味・関心を高めさせていくかが課題となっています。
- 生徒が調べ、考えたことを発表する力は少しずつ身に付いてきたが、交流し、深めることにもう少し工夫する必要があります。
- 考えを深めるためには、いかに事実や時事問題についての新鮮な資料を準備し活用できるかだと思います。
- 生徒の実態や能力に大きなばらつきがあるので、思考力の伸びにもばらつきが出てまいります。教師の側もそれを充分補充し切れません。

◆方策

- 思考力に関しては普段の生活経験などを手がかりに自分なりの意見をもつことが多いように思います。上位と下位の生徒の差が大きいため、課題を難なく解決できる子とそうでない子の落としどころの設定が難しいです。また、授業時間内で生活経験を増やせるような活動をできればと思います。
- 多くの考えに触れ、その中で取捨選択を繰り返し、それがやがて自分の中から発せられ、個人の活動の中でできるようになることが当面の課題であり、それを繰り返すことを続けたいです。
- 何かを考えるためには、基礎的な知識、体験や経験、すぐにあきらめない忍耐力などが土台となると思います。したがって、これらが不十分なきには「思考せよ」と言っても思考することは難しいため、まずは、思考力の源となる基礎を定着させ、それを土台に計画的・継続的な学習訓練を積み重ねていくことが大切と考えます。
- 思考力とは、教科の中でどんな力なのかをはっきりと規定することが大切と考えます。そして、規定したことを生徒に示すことも大切になると考えます。
- 「思考」をするための基礎知識がなければ「思考」できませんが、それが身に付いていない生徒が多く、社会科への興味・関心が薄い生徒にそれをさせるのは難しいと感じています。考える活動と、見たり読んだり書いたりする活動とのバランスをどのようにするかが大切と考えます。
- 思考力育成の大前提として、基礎的な知識の習得や好ましい学習習慣の習得が必要と考えます。教え込むことも大切であると考えます。一年生の段階では、社会科では特に重要な資料の読み方の訓練を意図的に行うことから、八つの考える視点への方向付けを行うことを心がけています。あわせて、思考力の高まりは、表現力の育成なくては表出しないものなので、思考力の育成は表現力の育成と一体のものと考えます。
- 授業の中で思考する場面（一人一人の時や話し合いにする集団思考）を数多く取り入れ、社会科は暗記でなく、考えることが大切であることを身をもって感じ取らせたいです。
- 評価・評定は主観的になりやすいため、評価規準・評定規準を生徒に明確に伝えることも大切と考えます。

提言にいたる質問紙調査にご協力いただいた先生方、ならびに、提言にかかわる具体的な実践例をご紹介して下さった先生方に感謝申し上げます。